

各 位

上場会社名	株式会社 サンワード
代表者	代表取締役社長 中村 勝弘
(コード番号)	7430)
問合せ先責任者	専務取締役商品開発担当 兼 管理担当 後藤 昭一
(TEL)	017-782-3200)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年4月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年2月21日～平成22年8月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,960	200	186	93	17.61
今回発表予想(B)	14,430	300	270	93	17.61
増減額(B-A)	△530	100	84	0	
増減率(%)	△3.5	50.0	45.2	0.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年2月期第2四半期)	14,615	160	129	13	2.48

平成23年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年2月21日～平成22年8月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,970	182	167	83	15.72
今回発表予想(B)	13,540	270	265	93	17.61
増減額(B-A)	△430	88	98	10	
増減率(%)	△3.1	48.4	58.7	12.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年2月期第2四半期)	13,707	118	110	2	0.57

修正の理由

1. 平成23年2月期第2四半期連結業績予想の修正理由

(売上高の修正)

当社グループの営業基盤であります青森県、北海道の経済環境は、個人消費や設備投資といった内需は弱く、回復傾向には至っておりません。また、未だに有効求人倍率、失業率ともに全国平均を下回る厳しさが続いており、消費行動の節約志向から、個人消費も相変わらず冷え込んでおります。

このような中、大型店を中心に店舗改装を行い、好調な食品部門を強化し、また、その取扱商品を他店舗へも展開したことによって食品部門の売上を伸ばしました。反面、経済環境の影響を受けたDIY部門・ブランド部門、価格競争の激しいリビング部門等の落ち込みを補い切れず、結果として売上高は14,430百万円(前回発表予想比3.5%減)となる見通しであります。

(営業利益の修正)

第2四半期連結累計期間に発生を見込んでおりました、販売費及び一般管理費の一部が第3四半期連結会計期間以降にずれ込む見通しとなりました。その結果、営業利益は300百万円(前回発表予想比50.0%増)となる見通しであります。

(経常利益の修正)

営業利益の修正要因により、経常利益は270百万円(前回発表予想比45.2%増)となる見通しであります。

(四半期純利益の修正)

当社グループは適格年金制度を廃止し、確定拠出年金制度及び退職一時金制度へ移行したことに伴い、第1四半期連結会計期間に退職給付制度終了損105百万円を特別損失として計上しました。その結果、四半期純利益は93百万円(前回発表予想比0.0%)となる見通しであります。

2. 平成23年2月期通期連結業績予想

下半期の経済環境はこの後も厳しく、消費行動の節約志向から個人消費も期待できないと見込まれますが、売上高は主要部門である食品が好調に推移しており、DIY、ブランド、リビングの各部門は秋・冬商戦の取組みによって当初計画の達成は可能と見通しております。

通期の利益見通しは、上記販売費及び一般管理費の一部のずれ込みを勘案して、連結・個別とも前回予想値を変更いたしません。

3. 個別業績予想の修正理由

個別業績予想の修正理由は、第2四半期・通期ともに連結業績予想の修正理由と同様であります。

以上